

## 斑点米カメムシ類多い！ 7月上旬までに草刈りを！！

6月下旬の水田周辺雑草地における斑点米カメムシ類の生息密度は、平年、前年より非常に多く、特にカスミカメムシ類の発生が多くなっています。また、平年より早く、すでに水田内への侵入もみられています。斑点米カメムシ類の増殖を抑えるため、7月上旬までに水田周辺雑草の除草を徹底しましょう。

### 1 発生状況

- 6月下旬の県内30地点の水田周辺雑草地におけるすくいとり調査（50回振り）では、1調査地点あたり56.3頭で、平年10.3頭、前年15.7頭より多い。とくに、アカスジカスミカメやアカヒゲホソミドリカスミカメが多い。
- 平年より早く、すでに水田内に侵入しているところもあり、今後はイネの出穂とともに水田内の生息数が増えると予想される。
- カメムシ類が好むイネ科雑草のメヒシバは、平年より早くすでに出穂しており、カメムシ類の増殖に好適である。

### 2 防除対策

- 斑点米カメムシ類は、イネ科雑草で増殖するため、必ず水田周辺の雑草を除去する。
- 畦畔等の草刈りは、7月上旬までに行う。（県下一斉草刈りデーは7月4、5日）
- オオムギ跡は、雑草が伸び、カメムシ類の増殖地となるため、浅く耕起するかモア等で除草する。
- 出穂期頃の草刈りは、カメムシ類の水田内への侵入を助長するので行わない。
- ヒエ等の水田内の雑草は、カメムシ類の本田侵入を助長するので、除草を徹底する。



アカヒゲホソミドリ  
カスミカメ成虫



アカスジカスミカメ成虫



ホソハリカメムシ成虫

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllg301.do>) を確認して下さい